企画書（Ａ４版）

市民の生活と財産と命を守る方法

新しい財源を必要とせず、市民の生活を守りながら、市の財政を豊にする方法

目的　市民の生活と財産と命を守ること
市民の生活再建と経済復興

概要　１、事業者を支援するには、資金を投下するしかない。
２、しかし、資金には限りがある。
３、そこで、少額の資金を回転（流通）させることにする。
４、1,000 万円でも、100 回転させれば 10 億円の経済効果が生み出せる。
５、回転（流通）させる手法として「減価」を採用する。
６、実現するために「減価する商品券（お買物券)」を発行する。

方法　１、職員の給料を１割、財源として確保する。
２、その財源を供託金に「商品券（お買物券)」を発行する。
３、商品券が利用できるお店やサービスを増やす。
４、職員に給料の１割を商品券で支払う。
５、職員は、地域で様々な商品を買う。
６、地域経済が潤う。（市民の生活と財産が守れる）
７、通貨の流通を促進させるために、「減価」の仕組みを採用する。
８、給料の１割を投下し続けるために、流通する商品券は加速度的に増える。
９、地域経済は加速度的に活性化していく。

予算　0 円
商品券の発行や運営に必要な費用は、広告主に負担してもらう。
商品券の裏付け（供託金）は、職員の給料の１割を確保することで賄う。

現状　地域通貨（商品券）に対する様々な取組みが行われてきたが、上手くいった例は多くない。「地域通貨は上手くいかない」という共通認識ができあがってしまっている。しかし、上手く行かなかったのは「その時点で、地域通貨が必要とされていなかった」という需要の問題である。今後、悪化する経済の中で「不便な通貨であっても生活の足しになるのなら利用したい」というニーズは高まっていく。

要望　実績のある施策である。実行し、地域社会を守って頂きたい。

年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿